

2020年度研究科入学者選抜試験問題（第3次募集）出題意図等  
専門領域問題《医学系研究科 看護学専攻 博士前期課程》

看護援助学コース

アドミッション・ポリシーに掲げた「幅広い基礎学力を有していること、明確な問題意識を持ち、主体的に学習と研究に取り組める自律した人であること」を確認することを目的として、看護師の実践の基盤となる『臨床判断』をテーマにした問題を作成した。

問1は、看護援助学の基礎知識として、看護師の『臨床判断』の特徴を読み取ることができるかを問う問題である。

問2では、看護師の臨床判断の実態から、看護師の『臨床判断』課題を見出し、その対策を問うた。

看護管理学コース

アドミッション・ポリシーに掲げた「専攻する分野の基礎知識を有していること、明確な問題意識を持ち、主体的に学習と研究に取り組める自律した人であること」を確認することを目的として、ジェネラリスト育成が主である病院における『配置転換と適応』をテーマにした問題を作成した。

問1は、配置転換とストレスに関する種々の情報から、客観的事実を読み取る力を確認するための問題である。

問2は、テーマに対する受験者の看護管理における問題意識について、データの分析を踏まえた論理的な思考力を問う問題である。

母子看護学コース

胎児期の状態が将来の健康状態に影響を及ぼすというDOHaD説に関する出題である。

データと説明文から、「胎児期の状態」と「将来の健康に影響する」の因果関係を論理的に述べさせる目的で出題した。

がん・成人看護学コース

ライフサイクルの視点から成人を取り巻く社会やがん医療の動向を踏まえ、がん看護学・成人看護学に関する基本的知識と看護実践能力を問うと共に、論理的思考力と説明力を測ることを意図した。